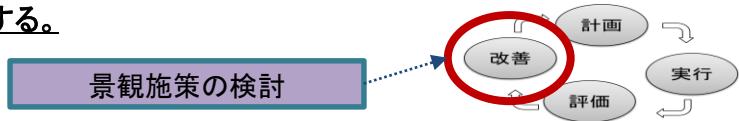


『町田市景観計画』見直しの視点

◆目的

「町田市景観計画」(2009年策定)に基づき実施した実践施策の評価検証から得た『今後の検討事項』と、2021年度策定・改定した上位計画・関連計画で示す『将来像の実現』を図るため、**町田市景観計画の「景観づくりの実現化方策(第4章から第6章)」を見直し、取りまとめを目的とする。**



◆検討スケジュール

検討は、全3回の専門部会にて、景観施策の方向性と具体的な取り組みを取りまとめて、2022年10月開催の第36回景観審議会へ答申する。

2022年 ●3月 8日	第35回景観審議会 ・「今後の景観施策のあり方」についての諮問
5月26日	庁内作業グループ
●6月15日	第1回専門部会 ・検討にあたっての視点の整理 →評価検証の結果 →上位、関連計画への対応 ・今後とるべき景観施策 →検討の枠組み →施策の方向性と具体的な取り組み(案)
7月	庁内作業グループ
●7月20日	第2回専門部会 ・今後とるべき景観施策の検討 →具体的な取り組みの検討(各委員からの提案)
9月	庁内作業グループ
●9月28日	第3回専門部会 ・今後とるべき景観施策の取りまとめ
●10月	第36回景観審議会 ・「今後の景観施策のあり方」についての報告・答申 ・「制度設計」についての諮問
2023年 ●8月	景観審議会 ・「制度設計」についての答申
2024年 4月	条例 公布
10月	条例 施行

◆改正の視点と方向性

次の2つの視点に基づき見直しを行う。

◆上位、関連計画で示す将来像や施策への対応

市の基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」、関連計画となる「町田市都市づくりのマスタープラン」「第3次町田市環境マスタープラン」で示す将来像や施策について、景観にて対応すべき施策を抽出する。

■「まちだ未来づくりビジョン2040」(2022年3月策定)

- ・政策3「自分らしい場所・時間を持てるまちになる」
施策3-2「町田ならではの地域資源を活かす」
- ・政策8「思わず出歩きたくなるまちになる」
施策8-1「気軽に外へ出てつながれる環境をつくる」
8-2「ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを暮らすようにする」
8-3「健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる」

■「町田市都市づくりのマスタープラン」(2022年3月策定)

- ・地域の特徴を活かした4つの暮らし「まちのもよう」
- ・拠点と活動軸「まちのつくり」

■「第3次町田市環境マスタープラン」(2022年3月策定)

- ・基本目標4「安全で快適な暮らしを実現するまち」
施策「美しく快適なまちを維持します」

【視点 1】

上位・関連計画の将来像・施策の実現

上位計画、関連計画で示された「暮らし」に、景観の観点からアプローチする。



都市づくりのマスタープラン『地域の特徴を活かした4つの暮らし』

◆2021年度の評価検証から得た『今後の検討事項』への対応

「町田市景観計画」の第6章「計画の推進・管理」に基づき、実践施策の評価検証を行い、その結果から以下今後に向けての検討事項を取りまとめた。

テーマ1【市民が主役の景観まちづくり】

- ・「町田市住みよい街づくり条例」と連携した市民活動の支援
- ・『生活風景宣言』『地域景観資源』制度の見直し
- ・市民に向けた景観に関する制度内容の周知

テーマ2【事業者との協議による景観まちづくり】

- ・屋外広告物の景観誘導に対する実効性強化
- ・景観法に基づく届出制度の早期周知
- ・良い事例を評価し、事業者の景観的な取組みを促進する仕組み

テーマ3【行政が先導する景観まちづくり】

- ・「公共施設の整備」に関する景観協議時期の明確化
- ・「公共施設の整備」に関する景観協議の目的やまちづくり効果の共有
- ・「景観重要公共施設」の制度活用

テーマ4【景観まちづくりの周知啓発活動】

- ・市民や事業者、市職員へ向けたセミナーやワークショップの開催
- ・将来の担い手となる若年層への景観学習の実施
- ・屋外広告物等、テーマごとの景観賞の実施
- ・景観まちづくり活動等を取りまとめた冊子の作成

【視点 2】

現行計画での『実践施策の質的向上』

多様な制度や仕組みを、景観形成を担う市民、事業者、行政に、活用してもらうために、景観計画の制度の内容や仕組み、周知方法、結果のフィードバック等の見直しを行い、景観計画の施策の実効性を高める。



景観づくりに関する計画等

景観計画 基本理念「生活風景に魅力と豊かさを感じられるまち」の実現を目指す